

## VI. 令和元年東日本台風等の被災地における地価の状況

- 令和元年10月の令和元年東日本台風（台風19号）等により浸水の被害が生じた地域において、需要の減退等により地価が比較的大きく下落している地点が見られた。

都道府県	市町村	地点		変動率(%)		R2 価格(円/㎡)
				R元	R2	
長野県	長野市	長野-24	(住宅地)	0.0	▲13.1	37,200
	千曲市	千曲-2	(住宅地)	0.0	▲5.0	34,200
	飯山市	飯山 5-1	(商業地)	▲1.1	▲5.1	25,900
福島県	郡山市	郡山-18	(住宅地)	0.0	▲5.8	30,800
		郡山-23	(住宅地)	+1.2	▲6.0	39,000
		郡山-26	(住宅地)	+1.4	▲12.6	25,000
		郡山 5-3	(商業地)	+0.9	▲9.1	52,800
		郡山 9-2	(工業地)	+2.5	▲17.1	17,000
	いわき市	いわき-5	(住宅地)	+1.4	▲7.3	53,000
		いわき-53	(住宅地)	0.0	▲4.0	53,300
		いわき-54	(住宅地)	+1.4	▲8.1	54,800
	須賀川市	須賀川-8	(住宅地)	▲0.6	▲7.3	16,500
		須賀川 5-4	(商業地)	+1.2	▲4.0	40,300
	相馬市	相馬-4	(住宅地)	+0.6	▲6.8	34,000
	伊達市	伊達-3	(住宅地)	0.0	▲12.2	22,400
	本宮市	本宮-1	(住宅地)	+1.4	▲4.0	35,800
石川町	石川-2	(住宅地)	▲0.5	▲6.6	16,900	
栃木県	栃木市	栃木-6	(住宅地)	▲0.3	▲4.3	31,500
東京都	大田区	大田-10	(住宅地)	2.4	▲3.0	418,000
神奈川県	横浜市	金沢 9-1	(工業地)	+7.3	▲2.5	115,000

※ 令和2年都道府県地価調査における変動率が前回と比べ4ポイント以上下落している地点を掲載

### 【参考】

- 平成30年7月豪雨の被災地において、復旧・復興に向けた取組が進む中、需要が回復しつつあり、地価が上昇している地点も見られた。

都道府県	市町村	地点		変動率(%)		R2 価格(円/㎡)
				R元	R2	
岡山県	倉敷市(真備町)	倉敷-40	(住宅地)	▲16.1	+0.7	28,800
		倉敷 5-17	(商業地)	▲15.5	+0.7	45,400